



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 株式会社 星医療酸器
コード番号 7634

上場取引所 東

URL <http://www.hosi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 星 幸男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 岡田 利夫

(TEL) 03(3899)2101

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,261	1.0	471	△12.3	480	△12.4	285	△13.6
25年3月期第2四半期	4,220	3.0	537	9.6	549	10.1	330	16.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 298百万円(△2.2%) 25年3月期第2四半期 305百万円(12.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	86.53	—
25年3月期第2四半期	99.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,750	8,751	73.0
25年3月期	12,037	8,519	69.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,581百万円 25年3月期 8,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	4.7	1,170	3.8	1,190	3.5	720	4.1	217.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	3,601,681株	25年3月期	3,601,681株
26年3月期2Q	298,064株	25年3月期	297,988株
26年3月期2Q	3,303,663株	25年3月期2Q	3,308,791株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策への期待感から円高の是正や株価の上昇が進み、景況感などに改善の動きが見られました。しかしながら、新興国の成長鈍化、欧州債務問題の長期化等の懸念材料もあり、先行きには不透明感が残っております。

当医療ガス業界においては、業界内における競争が引続き激化しており、加えて医療機関経営の効率化や、医療技術の進化による入院日数の短期化等もあり、当社グループを取巻く環境は引続き厳しいものと思われまます。

このような環境のもと、グループ各社との効率的な連携を図りつつ現状の経営基盤の拡充を図るとともに、国の在宅医療促進政策を加味して、自社開発製品「パレッツ」（無線通信機能を搭載した在宅酸素療法用酸素供給装置に付随する製品）を本格投入すると共に、在宅医療や介護福祉関連など多岐に亘る分野における取扱業務の多様化推進と、経営環境に即した柔軟な経営、並びに社会貢献を念頭に営業力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、連結売上高は4,261百万円（前年同四半期比1.0%増）と増収を確保できましたが、利益面では、連結経常利益は480百万円（前年同四半期比12.4%減）、連結四半期純利益は285百万円（前年同四半期比13.6%減）と減益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、薬剤や医療機器の進歩、並びに患者様の身体的負担を軽減する医療技術の浸透などにより、術後のケアが短期間となり、従来に比して入院日数が減少していることから、医療用ガスの消費量は鈍化の傾向にあります。

このような環境を踏まえ、医療ガスの生産性と収益性のバランスを考慮し、安定供給を旨とし、新規取引先の開拓と既存取引先への高付加価値サービスの提供に注力してまいりましたが、売上高は1,631百万円（前年同四半期比1.2%増）、一方セグメント利益は161百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、当社グループが、以前より重点的に注力しており、当社の収益源の要の一つとして成長しつつあります。患者様の日常生活を将来にわたってトータルサポートすることを目的に開発いたしました「パレッツ」の出荷数も順調に推移しました。また、人工呼吸器やCPAP（持続陽圧呼吸療法：閉塞型無呼吸症に対応する機器）と併せ、当社の知名度の向上と販売強化に努めました結果、売上高は1,644百万円（前年同四半期比3.9%増）、一方セグメント利益は267百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、メンテナンス・工事の両部門において、多くの医療機関で耐震補強工事及び老朽化による増改築工事の需要が継続している状況です。一層の営業努力を継続しておりますが、工事完成時期のずれ込みの影響もあり、売上高は338百万円（前年同四半期比18.5%減）、セグメント利益は14百万円（前年同四半期比67.5%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、在宅並びに医療機関・医療施設等へ取扱商品の販売やレンタルをおこなっております。現在注力中の「プロフアンド」（歩行困難な方も、自身の両足でペダルを漕ぐことが出来、リハビリ効果も期待できる足漕ぎ車椅子）が好評につき、伸張が見込まれるところです。業績につきましては拡販に努めた結果、レンタル部門は堅調に推移しましたが、販売部門が若干低調となったため、売上高は198百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）は入居率の向上に向け、営業努力を続けております。当施設の高度なサービスの提供と居宅介護支援事業者並びに病院の医療相談室へのアプローチが奏功し、入居率は増加傾向にあります。高齢化社会への対応として、平成24年12月に通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）を開設し、業務範囲の拡大を図りました。それらの結果、売上高は125百万円（前年同四半期比33.3%増）と増収でしたが、利益面ではセグメント損失31百万円（前年同四半期セグメント損失34百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は11,750百万円（前連結会計年度末比287百万円減）となりました。これは、受取手形及び売掛金が268百万円、たな卸資産が33百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は2,998百万円（前連結会計年度末比519百万円減）となりました。これは、支払手形及び買掛金が283百万円、未払法人税等が23百万円、賞与引当金が43百万円、長期借入金が58百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は8,751百万円（前連結会計年度末比232百万円増）となりました。これは、配当金の支払いによる減少66百万円、当第2四半期純利益285百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より24百万円減少し5,619百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動により得られた資金は373百万円（前年同四半期比14百万円減）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が480百万円となり、減価償却費の計上196百万円、法人税等の支払216百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により使用した資金は137百万円（前年同四半期比22百万円減）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出114百万円や投資有価証券の取得による支出11百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により使用した資金は260百万円（前年同四半期比58百万円減）となりました。

これは、リース債務の返済による支出135百万円、長期借入金の返済による支出58百万円、配当金の支払66百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日発表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,643,150	5,619,010
受取手形及び売掛金	1,734,131	1,465,817
たな卸資産	190,818	157,082
繰延税金資産	78,020	77,947
その他	41,567	47,132
貸倒引当金	△6,957	△7,701
流動資産合計	7,680,730	7,359,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	593,991	589,969
土地	1,870,975	1,870,975
その他（純額）	689,856	700,550
有形固定資産合計	3,154,823	3,161,496
無形固定資産	101,083	86,797
投資その他の資産		
投資有価証券	541,997	567,888
その他	560,545	576,270
貸倒引当金	△1,832	△1,658
投資その他の資産合計	1,100,710	1,142,500
固定資産合計	4,356,617	4,390,794
資産合計	12,037,347	11,750,083
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,531,010	1,247,073
1年内返済予定の長期借入金	117,636	117,636
未払法人税等	220,402	196,454
賞与引当金	120,000	76,300
その他	674,084	535,993
流動負債合計	2,663,134	2,173,457
固定負債		
長期借入金	117,683	58,865
役員退職慰労引当金	443,987	486,887
長期預り保証金	18,475	16,534
その他	274,381	262,548
固定負債合計	854,528	824,835
負債合計	3,517,662	2,998,292

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	7,883,326	8,103,127
自己株式	△509,990	△510,184
株主資本合計	8,323,224	8,542,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,311	38,247
その他の包括利益累計額合計	29,311	38,247
少数株主持分	167,149	170,712
純資産合計	8,519,685	8,751,790
負債純資産合計	12,037,347	11,750,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,220,809	4,261,970
売上原価	1,972,071	1,996,248
売上総利益	2,248,738	2,265,721
販売費及び一般管理費	1,710,986	1,794,371
営業利益	537,752	471,349
営業外収益		
受取利息	4,862	1,851
受取配当金	6,922	6,917
その他	4,368	3,987
営業外収益合計	16,153	12,756
営業外費用		
支払利息	4,858	3,403
営業外費用合計	4,858	3,403
経常利益	549,047	480,702
特別損失		
固定資産除却損	152	—
特別損失合計	152	—
税金等調整前四半期純利益	548,895	480,702
法人税等	216,614	191,741
少数株主損益調整前四半期純利益	332,281	288,960
少数株主利益	1,511	3,086
四半期純利益	330,769	285,874

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	332,281	288,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,046	9,411
その他の包括利益合計	△27,046	9,411
四半期包括利益	305,234	298,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,680	294,810
少数株主に係る四半期包括利益	553	3,562

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	548,895	480,702
減価償却費	218,684	196,927
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	330	42,900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,067	568
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,200	△43,700
受取利息及び受取配当金	△11,785	△8,768
支払利息	4,858	3,403
有形固定資産除売却損益(△は益)	152	—
売上債権の増減額(△は増加)	259,464	268,486
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,984	33,735
仕入債務の増減額(△は減少)	△318,140	△283,937
その他	348	△107,255
小計	689,556	583,062
利息及び配当金の受取額	12,074	10,121
利息の支払額	△4,609	△3,377
法人税等の支払額	△310,654	△216,378
法人税等の還付額	1,308	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	387,675	373,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112,568	△114,648
投資有価証券の取得による支出	△38,433	△11,456
長期貸付金の回収による収入	3,551	3,559
その他の支出	△13,361	△15,024
その他の収入	751	346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,060	△137,224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△150,618	△135,174
長期借入金の返済による支出	△58,818	△58,818
自己株式の取得による支出	△42,646	△193
配当金の支払額	△66,507	△66,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△318,590	△260,342
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,975	△24,139
現金及び現金同等物の期首残高	5,414,341	5,643,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,323,365	5,619,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,612,895	1,582,523	415,941	212,440	93,893	3,917,694	303,115	4,220,809
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	41,610	—	—	41,610	—	41,610
計	1,612,895	1,582,523	457,551	212,440	93,893	3,959,304	303,115	4,262,419
セグメント利益 又は損失(△)	176,780	289,068	45,563	23,490	△34,276	500,625	41,530	542,156

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	500,625
「その他」の区分の利益	41,530
セグメント間取引の消去	△4,403
四半期連結損益計算書の営業利益	537,752

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,631,639	1,644,318	338,946	198,238	125,176	3,938,319	323,650	4,261,970
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	31,043	—	—	31,043	—	31,043
計	1,631,639	1,644,318	369,989	198,238	125,176	3,969,362	323,650	4,293,013
セグメント利益 又は損失(△)	161,100	267,967	14,791	23,086	△31,666	435,280	41,791	477,071

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	435,280
「その他」の区分の利益	41,791
セグメント間取引の消去	△5,721
四半期連結損益計算書の営業利益	471,349

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。